

2018年度 放課後等デイサービス ももたろう 事業所自己評価協議結果

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
体制 環境 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保しており、目の届くよう活動支援等工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とされる配置数を確保している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	安全面に留意して工夫している。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	事業所全体でも日々業務改善に取り組んでいる。問題が生じた場合、改善策を練りつつ対処している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	年一回保護者様向けアンケート等を実施し、保護者様のご意向を把握し業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	今年度よりHPに公表。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	積極的に研修に参加している。それに加えて職員会での研修も実施している。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	基本情報や相談員からの情報を基に分析し作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用にあたっては、当所独自のシートを使用し情報を収集している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員全員でプログラムを立案し、実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	職員全員で立案した曜日毎のプログラムに加え、季節や行事に合わせたプログラムを実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日は日課を設定し、休日や長期休暇は学習としての戸外活動を必ず実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	学習を含めた個人活動と、短時間ではあるが全員で歌を歌ったりレクリエーションをするなどといった集団活動の時間を設け、組み合わせ実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日、朝礼を実施し、その日の支援内容や役割分担について確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後の打ち合わせの場は設けておらず、特記すべき事項がある時のみ必ず共有している。パートなど毎日出勤しない方へは、支援開始前に前日の様子について報告している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個別支援計画に沿って日々の活動の記録を細かくとり、内容の見直しや改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に一度のモニタリングでその児童の置かれている状況、成長の変化が見られる場合は必要に応じて計画の見直し、継続、変更を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	ガイドラインに沿って支援するよう心掛けている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理者及び、担当職員が中心となり参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	情報の共有を実施している。場合によっては保育所・幼稚園、地域の専門機関や医療機関との情報共有や相談、報告を行い、適切な支援を行えるよう努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在該当児童なし。該当した場合は連絡確認をとることは必須ととらえている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	新しい児童に関しては、保護者等関係者からの情報を頂く。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報提供に迅速に対応できるよう常備している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	県の研修に参加するなど知識・技術の向上に努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流は、現在実施していない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	自立支援の研修等には参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々、送迎時に保護者の方と直接お話をし、連絡ノートも活用しながら情報共有や相談が出来ている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ご相談には対応しているが、実施していない。
保護者への説明	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に、運営規定や利用者負担について説明させて頂いている。また、事業所内に重要事項説明書の掲示をし、いつでも確認できるように体制を整えている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談に対し助言させて頂くこともあるが、保護者の方と一緒に考えさせて頂き良い方法を見つけている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会は実施していない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	発生した場合は、速やかに対応できる体制が整備されている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に1度、活動報告や今後の予定、行事等の会報をお配りしお知らせしている。また、HPや連絡ノートにて活動内容は発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	注意している。個人情報が記載された書類等は、施錠棚に保管している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、視覚的情報等を利用したり、書類にふりがなを振る等、情報伝達のための配慮を行っております
非常時等の対応	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	年に1回のクリスマスコンサートを開催し、日頃練習している合唱などを披露して地域住民の皆様を招待している。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各マニュアルを作成している。職員の共有はできているが、保護者の方に周知できていないものもある為、今後周知していけるよう徹底する。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月一回は必ず実施して、年一回は消防署の協力のもと実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修に参加し、各指導員に伝達している。虐待防止について事業所内での研修や共有の場を設けている。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	拘束の必要な児童がないため、計画に組み込むことはしておらず、過去に実施したことはない。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現在該当児童はいないが、保護者からの申請には、対応している。利用開始時にアレルギーについての情報を提出頂いている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	警告と対策の徹底を図っている。ヒヤリハットを提出し、必要に応じてカンファレンス実施している。